



6月11日

扇が丘幼稚園の皆さんが  
粟市長にお花を持ってきてくれました

ごあいさつ

平成30年7月9日

台風から温帯低気圧に変わった前線の影響で、全国各地に激しい雨が降り続けました。犠牲となられた方や未だ安否がわからない方も多く、被災された皆様や地域にお見舞い申し上げる次第でございます。最近の天候は急激に変わり、予想を超えるような被害をもたらします。梅雨が明けなければ、夏が来ないのですが、予想を超える気象の対応にも常に備えておかねばなりません。

天候だけでなく、6月18日の午前7時58分には大阪北部で震度6弱の地震がありました。通学路になっていた小学校の施設のブロック塀が倒れ、お子さんが亡くなるという大変残念なことがありました。国から通学路上の施設や学校施設についてすぐに点検するよう指示があり、早速行ったところ、本市においては緊急に対応しなければならないものはありませんでした。しかし、基準に達しているから大丈夫ということではなく、少しでも不安の残ることは取り除き、市民の皆さんには安心して過ごしていただくためにも、これからさらに詳しい調査を行い、安心できる環境を整えたいと考えております。

耐震については公共施設も先駆けて整備を行っておりますし、一般住宅や店舗は、市の耐震調査や耐震化工事についての助成制度があるので、ご利用いただくことで耐震化は比較的進んでいると思います。さらに今年は国や県でも助成制度の拡充も図られるので、それに合わせて市の助成制度も広げていく予定をしておりますので、ぜひ、ご活用ください。

今年も市の防災訓練を8月19日に行う予定をしております。災害により万が一の事態になったとき、自分は何をしなければならぬかを考えていただくことが第一になると思います。その確認の機会と捉えていただき、防災訓練への積極的なご参加をお願いいたします。

これからの北国街道の賑わい創出のため、すでにいろいろと取り組んでいますが、さらに6月議会で、重要文化財の喜多家住宅の保全や活用の可能性の調査をするための関連予算をつけさせていただきました。来年春には地域中心交流拠点施設が完成いたしますが、この拠点と文化会館や「学びの杜ののいち カレード」をつなぐ北国街道を舞台に、市民の皆さんが活躍していただくにはどうすればよいのか、国の交付金を活用し「北国街道賑わい創出プロジェクト」と名称を改め、さらに力を注いでいこうと考えております。

特に北国街道では「ののいち里まち倶楽部」の皆さんが中心になり、関係するところとの交流をもたれています。野々市は日ごろから、さまざまな団体の方々と思いを共有して一緒に取り組んでいるので、それを活かして北国街道に関わる自治体や団体との交流もできれば、と考えています。

今月28日・29日と野々市じょんからまつりが開催されます。6月議会のなかで、じょんからまつりの開催場所についての一般質問をいただきました。地域中心交流拠点施設が完成すれば、そこを活かしたまつり会場も考えられます。しかし、場所というより、市民の皆さんがどんなふうになればもっと楽しめるか、どのようにしたいのかということをお話していただくことで、まつりがさらに展開され大きく広がる可能性があります。そのような思いをもつていただくことも、野々市じょんからまつりが皆さんに関心を持っていたいでいる証しなのではないかと思います。

サッカーW杯の日本戦は全て観戦しました。感動された方も多いと思いますが、「個の力」より「組織の力」が日本の強みであると感じました。市民の皆さんと行政が、ガッツリ組んだ「チーム野々市市」、これからの可能性に大いに期待するところです。